

火災予防啓発ビデオの制作・発表について

予防課

1 火災予防啓発ビデオ制作の経緯

平成20年～平成24年の5年間の住宅火災による死者数を発火源別にみると、例年たばこが1位となっており、平成25年中の住宅火災による死者数も、たばこによるものが141人で最も多くなっています。また、たばこが発火源となる場合、ふとん、寝具類に着火する割合が高く、死因が一酸化炭素中毒・窒息である割合が高くなっています。

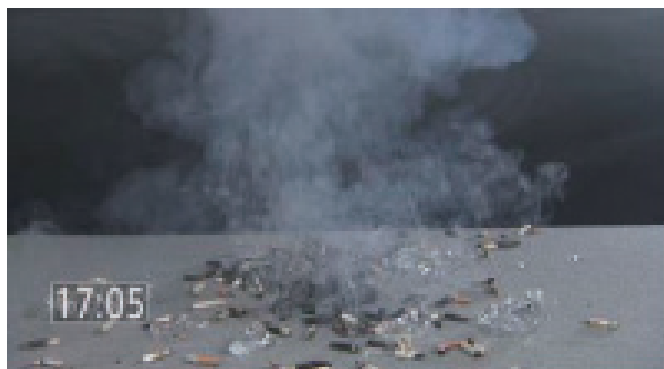
このため消防庁では、たばこ火災を未然に防ぐため普段から心がけておくべきことや、たばこ火災による被害を低減させる効果のある防災品や住宅用火災警報器、一酸化炭素警報器の重要性を周知するべく火災予防啓発ビデオ「小さな火種の知られざる恐怖～たばこ火災を防ぐために～」を制作しました。

2 火災予防啓発ビデオの内容

火災予防啓発ビデオは、たばこからの様々な出火状況（ガラス製灰皿が割れる状況、ごみ箱内に捨てたたばこからの出火、酸素療法時の喫煙による出火、寝たばこによるふとんの「くん焼」等）を実験で再現し、たばこ火災を未然に防ぐために日頃から心がけておくべきことや防災品や住宅用火災警報器、一酸化炭素警報器などの効果について、分かり易い内容の映像資料としています。

3 展開

本ビデオは、広く国民が自由に視聴及びダウンロードできるように消防庁ホームページ（http://www.fdma.go.jp/html/life/yobou_contents/materials/index.html）に掲載するほか、各種メディア、全国の消防機関等に提供し、幅広く活用していただくこととしています。



ガラス製灰皿が割れた状況



寝たばこによるふとんの「くん焼」

問い合わせ先

消防庁予防課
TEL: 03-5253-7523